

湘南フォーラム



公共施設の駐車場有料化、待機児童及び昨年の台風から
出村 光 議員

公共施設の駐車場有料化について

問 有料化の目的とどのように市民へ情報提供したのかを伺う。

市長 効率的で公平な運営と経費の負担増を抑えることを目的に有料化を実施する。総合公園と馬入ふれあい公園では、イベント開催時などに満車となり交通渋滞が発生するなどの問題や未舗装の総合公園臨時駐車場にぬかるみができるなどの課題解決を図っている。有料化は、ひらつか協働経営プラン2013に掲げて以降、市民へ公表しつつ検討してきた。個別計画策定の過程で、記者発表やパブリックコメントを実施し、周知している。関係団体にも説明を行った。

市長 駐車料金は事業者の収入とし、施設管理許可費用として本市へ一定額を毎年納付してもらう。金額は駐車場運営事業者選定時のプロポーザル提案の中で決めていく予定である。収入は公園の管理運営費用として施設の修繕や充実に使用していく。利用状況を的確に把握し、課題が解決されているかなど、早い時期に検証していきたい。

庁舎及び文化ゾーン駐車場

問 新庁舎の自動二輪及び自転車の駐車場はどのように計画しているのか。

市長 駐車場棟と本館の間に確保し、今までと同様の対応が可能である。

問 減免に対する意見やパブリックコメントをどのように反映させるのか。

市長 無料時間を2時間にしてほしいなどの意見もあり、さまざまな角度から検討を行った。計画の料金体系には反映させず、減免などの対応を協議する。

総合公園・馬入ふれあい公園駐車場

問 有料化の実施時期を伺う。

市長 順調に手続きや整備が進めば、平成30年2月から実施予定である。

問 競技大会関係者などへの減免の考え方を伺う。

市長 減免はあくまで例外的な措置であるが、スポーツ振興の観点を踏まえ規定を整理していく。

待機児童について考える

問 年間を通じた待機児童ゼロの対策を求めるが、最新の入所人数、入所率及び待機児童数を伺う。

市長 29年5月1日時点で、認可定員3705人に対し、4025人が入所し約109%の入所率、待機児童数は97人である。

問 待機児童発生理由と課題、今後の対策を伺う。

市長 28年度中に未就学児を中心に社会増になったこと、有効求人倍率が回復傾向にあること、出産後も継続して働くことを希望する女性が増加していることなどにより入所希望者が増加し、待機児童の発生につながっている。保育の質を確保しつつ量の拡大を図ることが課題である。今後、施

設の再整備や幼稚園の認定こども園化、保育士の新規確保などに取り組み、子供を産み育てやすい環境づくりを進めていく。

平成28年8月22日台風9号から見えてきた課題

問 風雨激しい中では防災行政用無線や広報車からの声が聞こえづらい現実がある。他市で導入が進んでいる緊急告知ラジオの導入を提案するが、見解を伺う。

市長 今年度、難聴地域の把握や対応策の検討などを行い、30年度には防災行政用無線を補完する防災ラジオを導入し、希望者へ有償配布できるよう進める。



大規模自然災害に強いまちづくり・ひとづくり
内堀 祐一 議員

防災・減災の対策

問 平塚市耐震改修促進計画にある住宅の耐震化の進捗状況及び今後の取り組みを伺う。

副市長 戸建て住宅の耐震化率は、平成26年度で約72%と推計した。最新の結果は、30年度の国の調査を待つことになる。今年度は、耐震診断費を全額補助し、耐震補強設計費及び耐震補強工事費の補助金を増額している。また、耐震相談会や各種イベントでの活動を行うとともに、職員による市内全域の旧耐震基準の戸建て住宅の戸別訪問で啓発

問 鈴川の岡崎大橋上流から東橋下流までの区間に堆積した土砂の浚渫と堤防のかさ上げ補強を求めるが、見解を伺う。

市長 河川管理者の県は、今年度も東橋付近の浚渫を行うと聞いている。さらに鈴川改修整備促進協議会などを通じて強く要望していく。また、堤防はかながわの川づくり計画に基づき整備が完了していることから、更なるかさ上げ補強は難しいと聞いている。

このほかの質問 大型事業の進捗状況(新庁舎建設事業、市民病院整備事業) ツインシティ整備推進事業(事業の進捗状況、相模小学校移転計画)

副市長 津波により浸水が予測される学校などでは上層階で避難所を運営することになるが、状況によりほかの避難所へ移動することも考えられる。

副市長 現在、さまざまな手法で情報発信を行っている。防災行政用無線が聞こえにくい地域へは、市民向け防災ラジオの導入を検討している。今後も新たな手法の研究に努めていく。

副市長 現在、さまざまな手法で情報発信を行っている。防災行政用無線が聞こえにくい地域へは、市民向け防災ラジオの導入を検討している。今後も新たな手法の研究に努めていく。

問 自治会未加入者や避難

議員からの提出議案として、本会議の最終日に次の意見書が提出され全会一致で可決しました。可決した意見書は国や関係行政庁に提出します。ホームページには全文を掲載しています。

可決した意見書

神奈川県最低賃金改定等についての意見書(抜粋)

2017年度の神奈川県最低賃金の諮問・改定に関して、次の事項について、特段の配慮をされるよう強く要望する。

- 1 経済の好循環の実現のため、早期に神奈川県最低賃金の諮問・改定を行うこと。
- 2 最低賃金引上げに伴う中小企業・小規模事業者への支援を強化すること。
 - (1) 国として実施している各施策における神奈川県での活用実績等、取り組み成果の見える化を図り、実効性を高めること。
 - (2) 公正な取引関係の確立に向け、為替変動・資材高騰・物価上昇などに伴うコスト増に対し、価格転嫁を阻害する行為への適切な指導、監視体制の強化をはかること。
- 3 「働き方改革実行計画」の取り組みと連動させ、更なる取引条件の改善とともに、賃金引上げと労働生産性向上を図ること。

子どもたちにゆたかな学びを保障するために、少人数学級の実現、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書(抜粋)

子どもの学ぶ意欲・主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備が不可欠である。

よって、政府におかれては、次の事項について配慮されるよう強く要望する。

- 1 子ども、保護者のニーズに応じたきめ細かな教育を実現し、ゆたかな教育環境を整備するため、少人数学級の実現と学級規模の弾力化を推進すること。
- 2 保護者負担軽減のため、教育予算を増額すること。また、義務教育教科書無償制度を継続すること。
- 3 義務教育制度は、教育の機会均等、水準確保、無償制を根幹としている。それを支えるための義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担を最低でも従前の2分の1まで拡充すること。

行動要支援者の情報不足に対応するため、発災時に携帯電話やアプリ、ホームページ、SNSなどで最新の情報を取得し、安全な避難に結び付ける体制がつかれないか。

副市長 現在、さまざまな手法で情報発信を行っている。防災行政用無線が聞こえにくい地域へは、市民向け防災ラジオの導入を検討している。今後も新たな手法の研究に努めていく。

副市長 津波による建物被害の目安として、木造家屋の浸水が深さ2メートルを超える場合に半数が全壊すると考えている。海岸や相模川、金目川に面した地域を想定している。

副市長 現在、さまざまな手法で情報発信を行っている。防災行政用無線が聞こえにくい地域へは、市民向け防災ラジオの導入を検討している。今後も新たな手法の研究に努めていく。

副市長 津波による建物被害の目安として、木造家屋の浸水が深さ2メートルを超える場合に半数が全壊すると考えている。海岸や相模川、金目川に面した地域を想定している。

副市長 津波による建物被害の目安として、木造家屋の浸水が深さ2メートルを超える場合に半数が全壊すると考えている。海岸や相模川、金目川に面した地域を想定している。

副市長 津波による建物被害の目安として、木造家屋の浸水が深さ2メートルを超える場合に半数が全壊すると考えている。海岸や相模川、金目川に面した地域を想定している。

副市長 津波による建物被害の目安として、木造家屋の浸水が深さ2メートルを超える場合に半数が全壊すると考えている。海岸や相模川、金目川に面した地域を想定している。

厳しい就労条件の世帯も多い。基金を活用した住宅補助などのさまざまな個別援助のメニューを用意することが子育て支援、またシニアプロモーションにもなるのではないか。

健康・こども部長 子ども・子育て基金は、政策フレームに基づき取り組みを中心に活用しており、支援策の必要性や手法、優先順位などを精査し判断する。また事業の実施に際しては、対外的なアピールも行い、子育てで選ばれるまち・住み続けるまちになる

健康・こども部長 子ども・子育て基金は、政策フレームに基づき取り組みを中心に活用しており、支援策の必要性や手法、優先順位などを精査し判断する。また事業の実施に際しては、対外的なアピールも行い、子育てで選ばれるまち・住み続けるまちになる

健康・こども部長 子ども・子育て基金は、政策フレームに基づき取り組みを中心に活用しており、支援策の必要性や手法、優先順位などを精査し判断する。また事業の実施に際しては、対外的なアピールも行い、子育てで選ばれるまち・住み続けるまちになる

健康・こども部長 子ども・子育て基金は、政策フレームに基づき取り組みを中心に活用しており、支援策の必要性や手法、優先順位などを精査し判断する。また事業の実施に際しては、対外的なアピールも行い、子育てで選ばれるまち・住み続けるまちになる

健康・こども部長 子ども・子育て基金は、政策フレームに基づき取り組みを中心に活用しており、支援策の必要性や手法、優先順位などを精査し判断する。また事業の実施に際しては、対外的なアピールも行い、子育てで選ばれるまち・住み続けるまちになる

健康・こども部長 子ども・子育て基金は、政策フレームに基づき取り組みを中心に活用しており、支援策の必要性や手法、優先順位などを精査し判断する。また事業の実施に際しては、対外的なアピールも行い、子育てで選ばれるまち・住み続けるまちになる

健康・こども部長 子ども・子育て基金は、政策フレームに基づき取り組みを中心に活用しており、支援策の必要性や手法、優先順位などを精査し判断する。また事業の実施に際しては、対外的なアピールも行い、子育てで選ばれるまち・住み続けるまちになる

湘南フォーラム 所属議員



小泉 春雄 議員



府川 正明 議員